

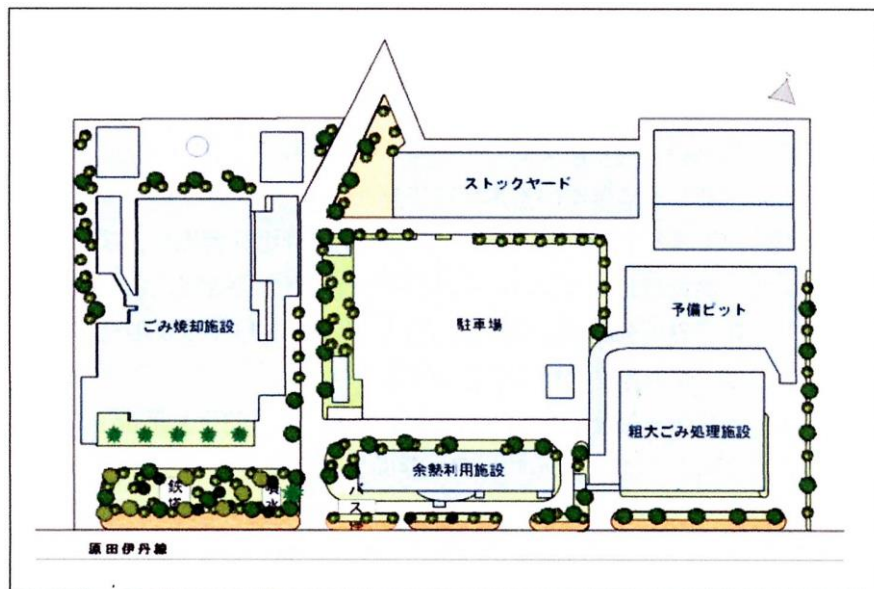
豊中伊丹クリーンランド見学記

1. 豊中市、伊丹市と富士市の比較（豊中・伊丹のデータ「ひと目でわかるクリーンランド」）

		豊中市	伊丹市	富士市
人口 (H23/10/1 現在)	[人]	390,254	197,094	260,550
ごみ排出量 (H23 年度)	[t]	118,564	58,781	81,686
	[g/人・年]	832	817	857
ごみ処理経費 (H23 年度)	[円]	2,068,277,381		
	[円/人・年]	3,521		

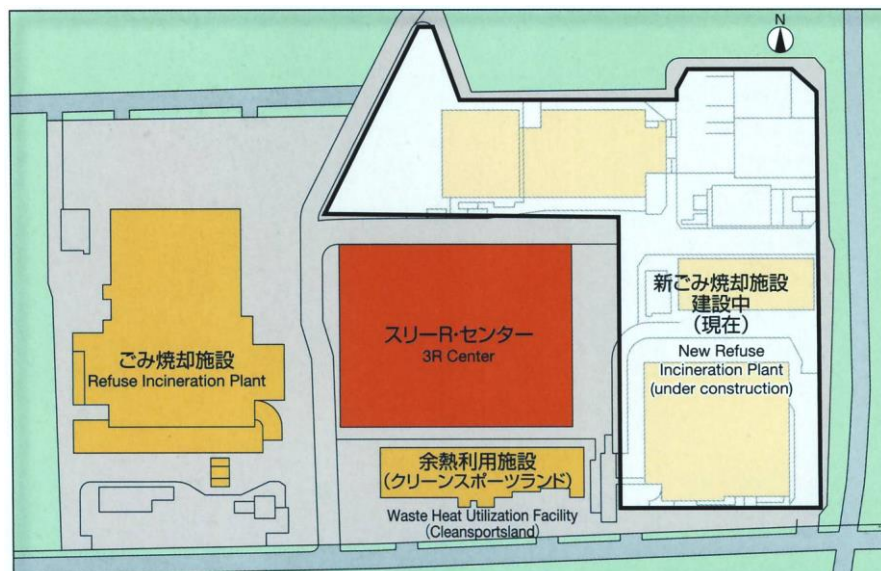
2. 施設配置図

1) 新ごみ焼却施設整備基本計画実行前（平成 22 年 3 月）

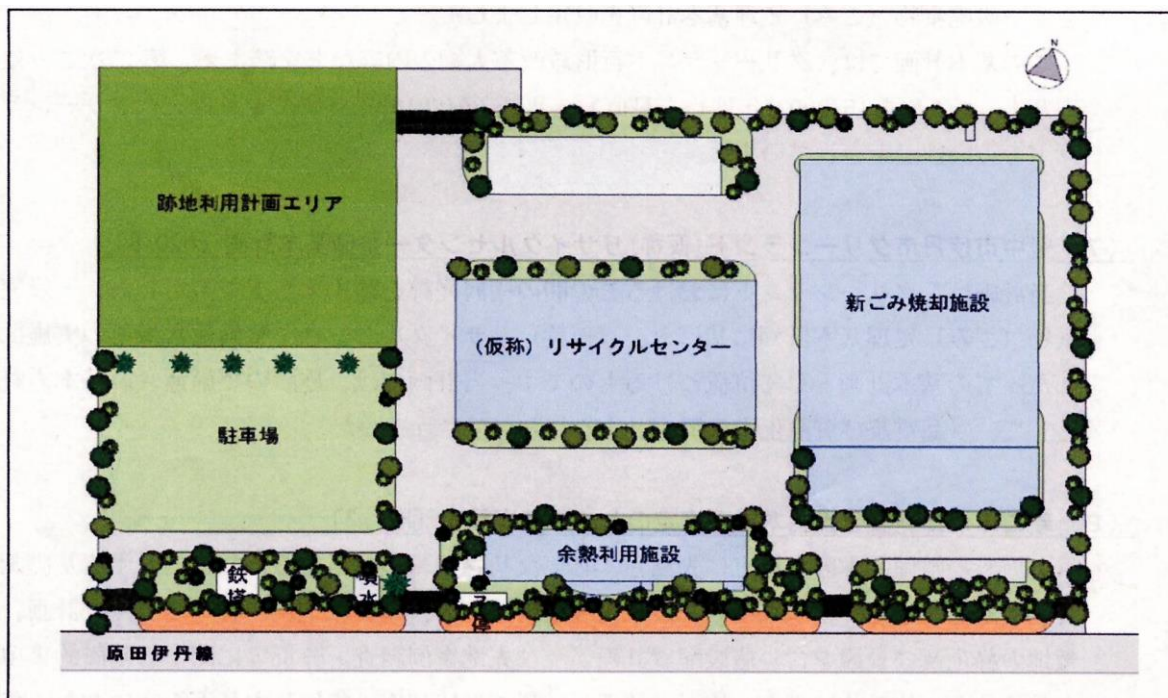


2) 現在（新ごみ焼却施設整備基本計画実行_豊中伊丹スリーR・センター完成）

既存の「粗大ごみ処理施設」機能を強化更新すると共に、環境学習・啓発機能を追加した「豊中伊丹スリーR・センター」を完成（余熱利用施設は休業中）



3) 平成 30 年度（予定）（新ごみ焼却施設完成_新ごみ焼却施設整備基本計画完了）



3. 豊中伊丹スリーR・センターの概要（詳細：「[ひと目でわかるクリーンランド](#)」）

1) 施設の規模

- ① 施設処理能力 134 t / 5 時間 不燃・粗大系統：53 t、資源物系統：81 t
 （旧能力：135 t / 5 時間 不燃・粗大系統：116 t、資源物系統：19 t）
- ② 処理対象品目 びん、ペットボトル、プラ製容器包、缶、古紙、古布
 粗大ごみ、不燃ごみ、剪定枝

2) 施設の特徴

- ① 3R の推進 ：資源化率の向上（32%⇒50% 以上）
- ② 環境学習機能の向上
- ③ モニタリング体制の充実 ：公共の責任のもとに公設民営方式で事業化
- ④ 障がい者の就労 ：30 人の知的障がい者の一般就労

3) 環境学習業務の実施体制（NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラム運営）

- ① 常勤スタッフ 4 人
- ② 非常勤スタッフ、サポーター 5 人
- ③ ボランティアスタッフ 13 人
- ④ 連携団体 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21
 大阪工業大学工学部環境工学科廃棄物共存工学研究室

注：ここでの運営体制は、まず、スリーR・センター全体を民間企業が委託運営し、
 その中の環境学習・啓発部門のみ NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラムが再委託
 され運営するという形態となっている。

4) 施設見学実施状況 {人数 (件数)}

	小中学校	地元市民	他市市民	その他	合計
平成 24 年度	5,146 (77)	1,460 (133)	368 (31)	450 (39)	7,424 (280)
平成 23 年度	5,298 (91)	476 (22)	12 (2)	140 (7)	5,926 (122)

5) 施設の概要 ～資源循環型社会の拠点「森の中の再生工場」～

(豊中伊丹スリーR・センター 広報パンフより引用)

●知識の森 ～エントランスホール～ Knowledge Forest: Entrance Hall

スリーR・センターのまさに玄関です。ここで施設の概要を知ることができます。また、エントランスホール横の各研修室では、DVDの視聴や講義を通してごみへの知識を深めます。

This is the Entrance Hall of Toyonaka & Itami Cleanland Recycle Plaza, which is popularly known as the "Toyonaka Itami 3R Center." It introduces an overall view of the entire facility. The Education Rooms next to the Entrance Hall provide deeper knowledge through lectures and DVD presentations.



●豊中市・伊丹市の航空写真
豊中市・伊丹市の航空写真(4000分の1縮尺)でスリーR・センターの所在地を確認できます。

●Aerial Photo of Toyonaka & Itami

This aerial photograph of Toyonaka and Itami shows the location of the 3R Center (1/4000 scale).



●ウエルカムメッセージ

ウエルカムメッセージでは、イベント等の案内を表示します。

●Welcome Message

Information on events and the like is displayed here.

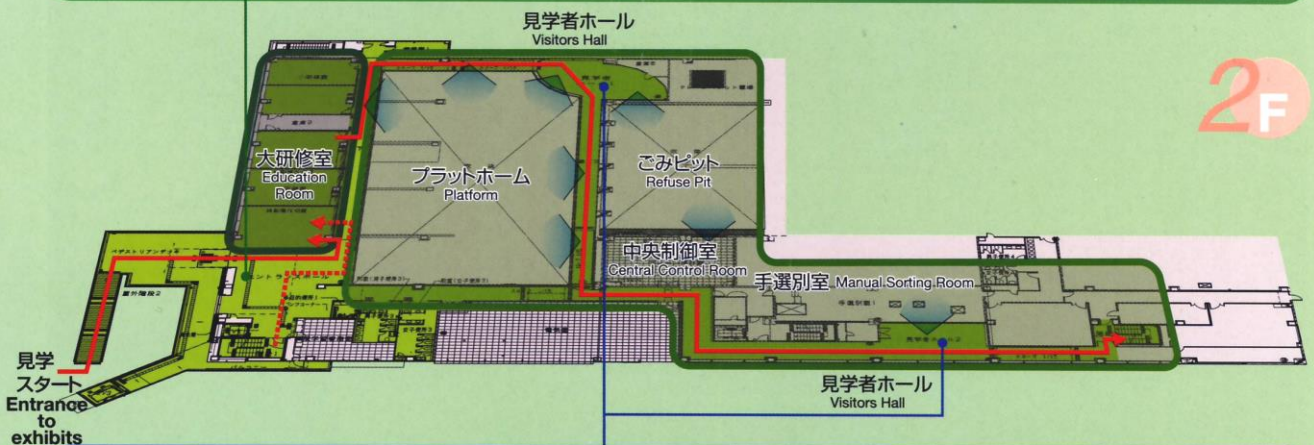


●各種パネル

クリーンランドの概要などを紹介しています。

●Display Panels

A variety of panels present an introduction to Cleanland and other items of interest.



●気づきの森 ～ごみピット/びんのリサイクル～ Learning Forest: Refuse Pit & Bottle Recycling

ごみピットやクレーン、プラットフォームをご覧になれます。びんの見学者ホールでは、手選別の様子をご覧になれます。

Here, you can see the Refuse Pit, Crane, and Platform. The manual sorting process can also be viewed from the Visitors Hall.



●ごみピット見学

実物大のクレーンの絵が床と壁に描かれており、大きさを体感できます。

●Refuse Pit Exhibit

Graphics on the floor and the wall show the actual size of the crane and clearly indicate the scale of the facility.

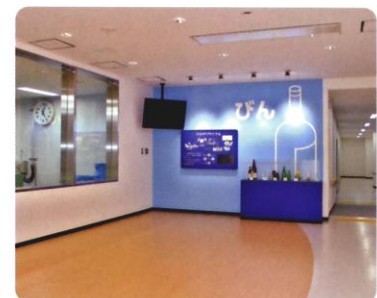


●中央制御室/クレーン操作室見学

職員が機械を運転する様子をご覧になれます。

●View of Central Control Room & Crane Operator Room

Here, you can watch the workers operating the machinery.



●びんの見学者ホール

びんの手選別の様子を間近でご覧になれます。

●Visitors Hall for Bottles

This area gives you a close-up view of manual sorting of bottles.

●**気づきの森** ～かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクル～
Learning Forest: Recycling of Cans, PET Bottles, and Plastic Containers and Packaging

かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装のそれぞれの処理方法について紹介します。

This exhibit shows the processing methods for cans, PET bottles, and plastic containers and packaging.



●**手選別コンベヤ**

手選別により不適物を取り除く様子を間近でご覧になれます。

●**Manual Sorting Conveyors**

This exhibit gives a close-up view of how nonrecyclable items are actually processed through manual sorting.

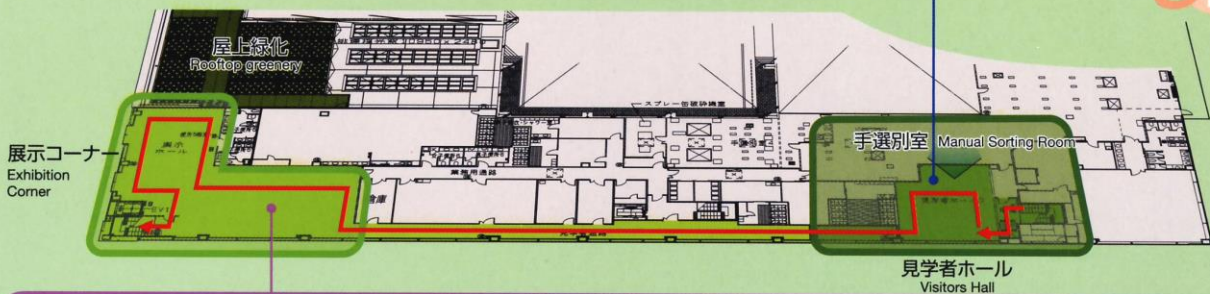


●**実物展示台**

処理過程で取り出された不適物や圧縮梱包品(実物大)、各種リサイクル品を展示しています。

●**Actual-size Display Stands**

This exhibit displays nonrecyclable items removed during the sorting process, actual-size compacted bales, and various recycled products.



3F

●**実践の森** ～気づきウルトラクイズ／分別・リサイクルゲーム／緑の循環サイクル～
Experience Forest: Awareness Ultra Quiz/Sorting and Recycling Game/The Green Cycle

見学の中で学んだことを、クイズやゲームなどを通して、“実践”する場所です。

At these exhibits, you can learn through quizzes and games while practicing recycling.



●**気づきウルトラクイズ**

ごみ処理やリサイクルに関するABの二者択一形式の問題が出題されます。

●**Awareness Ultra Quiz**

This quiz on solid waste disposal and recycling presents questions that require you to choose between two alternatives.



●**分別・リサイクルゲーム**

カードを用いて、ゲーム形式で分別を実践します。

●**Sorting and Recycling Game**

In this game, players are given cards indicating familiar types of solid waste, which they then try to sort appropriately.



●**緑の循環サイクル**

豊中市と伊丹市における剪定枝チップの活用に ついて紹介しています。

●**The Green Cycle**

This exhibit shows how wood chips made from tree trimmings from Toyonaka and Itami are utilized.

4. スリーR・センターにおける環境学習

1) 基本的な考え方

ごみ問題を基軸とした環境学習を行い、廃棄物処理に係る様々な課題、とりわけ「分別」の重要性に「気づき」、自らのライフスタイルを変革させる「行動」に結び付けるための“学習の場”となることを目指す

2) 市民協働による展開

① 市民団体との協働

- 市民団体（NPO－環境学習業務担当）との役割分担・責任範囲の明確化

② 見学案内担当の市民ボランティア制度確立

- 市民が参加しやすいボランティア制度を設計し、「人づくり」に主眼を置いた育成

3) 施設見学ナビゲーター“ごみぶくろう”



5. NPO 法人 豊中・伊丹環境政策フォーラムとは（HP より引用）

豊中市・伊丹市両市の市民生活や環境政策に大きく関わる「豊中市伊丹市クリーンランド」が整備される機会に、この施設を有効に機能させ活用することによって、両市の市民・事業者・行政が協働しながら環境問題の解決につなげる活動をしていきます。

1) 環境学習機能の運営

① 豊中市伊丹市クリーンランドの施設見学をベースにした環境学習

② 新環境学習・啓発施設における環境学習メニューの開発

③ 中学生の体験学習および大学生のインターンシップ・出前講座

④ ボランティアの養成

⑤ 市民参加による講座の開催、フォーラムの実施

2) 「森の中の再生工場」の実現に向けて

① 猪名川など周辺自然环境との共生

② 施設内の自然空間の創出・整備

③ 自然环境学習の拠点として

3) モニタリング・政策提言

① ごみ処理施設のモニタリングへの市民参加・コミュニケーション支援

② 環境問題に関する情報の提供・発信・交流

③ 両市の環境政策への提言

6. 感想

1) 豊中伊丹スリーR・センターの環境学習・啓発機能のコンセプトは、環境学習の基本的な考え方で謳っているように、市民（見学者）が「見て」、「気付いて」、「行動する」ライフスタイルへの変革を目指していることが十分に視える。

2) 従って、通常のリサイクルプラザで主体をなす「展示物」は少なく、見るものは「廃棄物の中間処理施設」そのものである。

3) このことは、現在建設中の「新ごみ焼却施設」にも引き継がれることが「新ごみ焼却施設整備基本計画」の中で明記されている。

4) この点で見ると見学者に「気付かせる」ための「見学ガイド」の説明の力量が問われる

こととなるが、ここでの「見学案内担当の市民ボランティア制度確立」は大きな意味を持っているものと思われる。

- 5) 要は、ここではまず最初に見学者に気付いてほしい「何か」があって、それに気付いてもらうために「何をどのように見せ、どのように説明するか」ということであるように思う。
- 6) このことをここでは、NPO 法人豊中・伊丹環境政策フォーラムが企画し、実行しているということであろう。

7. その他

1) 市民ボランティア

① 活動内容

主に、豊中市・伊丹市の小学校4年生の社会科見学の学習サポート
豊中市、伊丹市とも、小学校4年生に対し、当該施設の見学が制度化されている。

② 資格

所定の養成講座（半日×4日）にすべて出席、週一回以上見学サポートが可能な方

③ 手当

交通費【定額：2,000円】＋午前午後となった場合は、昼食費（1,000円）支給

8. その他の引用資料

- ① [豊中市伊丹市区リーランド 新ごみ焼却施設整備基本計画（平成22年3月）](#)